

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 愛知県豊橋市立旭小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}

☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 440-0057

愛知県豊橋市旭町字旭 4 0 9 番地

E-mail asahi-e@toyohashi.ed.jp

Website http://www.asahi-e.toyohashi.ed.jp/

児童生徒数 男子 108 名 女子 90 名 合計 198 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳 ~ 12 歳

2. 報告期間

平成 2 9 年 4 月 ~ 平成 3 0 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

校区には、豊かな食をもたらす地産地消の象徴である「三八の市」、社会福祉の活動拠点で人権擁護を実践する施設である「総合福祉センター(あいトピア)」がある。そうした校区の特色を生かして旭小学校では、ESDの活動をすすめ、児童に地域に愛着をもち学び続ける力を育ててきている。

○生活科

「1年 お年寄りとの交流会」

1月末に校区内にある福祉施設「あいトピア」に出かけ、校区のお年寄りの方と一緒に、歌を歌ったり手話をしたりしながら交流を行った。おじいちゃん、おばあちゃんから、歌や手遊びを教えてもらい、楽しく交流することができた。



「2年 もっと知りたいな町のこと ~あいトピア・もちや」

校区内にある多くの人に愛されるお餅屋さん「もちや」に出かけ、働いている人やその人たちの思いにふれた。みんなのことを考えて働いている素敵な人が旭校区にいる



ことを知り、旭校区への愛着をより深めることができた。

○総合的な学習

「3年 三八の市のひみつをさぐろう」

毎月「三」と「八」の日に市がたつ三八通り。三八の市での買い物を通し、店の人がどのように工夫しながら商品を仕入れ売っているか、どんな思いで三八の市に出店しているのかに迫った。三八の市にかかわる人たちの工夫や思いを学び、一層地域を愛し大切にすることを育むことができた。



「5年 動きだそう！守ろう旭校区！わたしたちの力で！」

旭校区は、豊橋市の想定する南海トラフ地震の家屋被害予想調査結果で、全壊・焼失率 86%という高い数値が出ている。このような校区の現状を、自治会では不安に思うとともに、災害発生時は、小学校高学年に期待をしているという声も聞こえている。旭校区における防災の学習は、校区自治会の期待に呼応して、子どもたちが校区に住む人たちのために、主体的に活動するきっかけとなった。



○学校行事

「ひなまつり集会」

旭小学校の特色ある行事の一つで、お世話になった地域の方や保護者に、子どもたちの成長を見てもらい、交流を深めている。集会は2部構成で、最大の特徴は第1部の「人間雛披露」。選ばれた14名の子どもたちが「人間雛」となって順々に登場し、集会を盛り上げた。第2部は、日ごろからお世話になっている校区の人たちを招待して、感謝の会を行った。子どもたちは、手作りの感謝状とお礼の手紙を渡し、改めて多くの方にお世話になっていることを確かめることができた。旭小学校の子どもたちは、地域に支えられて、まっすぐに成長している。



「桜ヶ丘公園530活動」

市民の憩いの場となっている桜ヶ丘公園を、旭小学校の児童と地域の人とで協力して清掃した。地域のよさを感じ、地域を大切にしようとする気持ちを、活動を通じて分かち合った。

短い時間であったが、地域の皆さんと力をあわ



せ、落ちていたたくさんの松の葉を集めた。公園がきれいになり、地域への愛着の心を育てることができた。

「子ども１１０番の家に感謝する活動」

子ども１１０番の家の方が、子どもたちをあたたかく見守ってくれているおかげで、旭小学校の児童は大きな事故もなく、安心して登下校ができています。毎年、感謝の心をこめて花を育て、鉢花を贈っている。この花は、全校児童が水をやって育て、鉢には感謝のことばを書いたプレートをつけて、下校時にそれぞれの通学班に分かれて届けている。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input checked="" type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。

課題解決型の学習過程はどの教科・領域においても意識している。当然、それに伴った教育課程はかねてから編成している。
教科横断的な指導計画は「キャリア教育」をもとにして内容を定めており、毎年指導方法は改善している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

年間計画に位置付け、職員会議で審議を行い実施している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

学校評議委員会を通じて、外部からの評価をいただいている。これまで実施してきた活動は、概ね評価は高くいかに継続させるのかが課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

ESD 豊橋大会において、全国から集まった参加者の前で6年生児童4名が福祉についてのポスターセッションを行った。全国に旭小学校の取り組みを発信できた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

5年生の総合的な学習「防災」では、地域の自治会・消防団隊長・市の防災危機管理課と連携をとり、学習を進めていった。2月のひなまつり集会において、特にお世話になった方々には感謝状を渡した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成

現状において、国内へ向けての発信もそこそこである。国外への発信は今後の課題となっている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地

域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)

地域との連携が強化された。地域の方々にお世話になり、感謝の気持ちを育むとともに、地域の方々も地域全体で児童を育てていこうという意識が強まった。

(3) 平成 30 年度の活動計画

4 月 防災学習
5 月 こいのぼり運動会
6 月 旭学校いのちの日
7 月 もちや訪問
9 月 合同あいさつ運動
10 月 三八の市訪問
11 月 530 活動
12 月 ひまわり保育園との交流
1 月 お年寄りとの交流
2 月 ひなまつり集会 (校区のみなさんへの感謝の会)
3 月 6 年生を送る会, 子ども 110 番お礼